

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービス あすなるわかば

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	7		2	・ロールスクリーン等でスペースを確保している。 ・パーティションを用いて感染症対策を行っている。	新型コロナウイルス感染症対策のため部屋を分けて活動を行っています。適切な活動スペースの確保には十分に注意を払って取り組んでまいります。
	2	職員の配置数は適切である	8	1			職員の配置数はアルバイトを含め、利用者2~3人に対してスタッフを1人という適切な配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	6	2	・施設内に手すりや滑り止め等を設置している。	段差が多く、車椅子などの対応は難しいという意見がありました。安全性を重視し、必要に応じてできる限りの改善に努めて参ります。またスタッフの配慮も怠ることなく実施して参ります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	5	1	・今年度より事業所間で業務改善を踏まえた会議を行っている。また終礼にて一日の振り返りと情報共有やフィードバックを行っている。	更なる業務改善に向けて、今後とも努力して参ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		2	連絡帳に保護者記載欄を設けている。また送迎時や面談時に保護者とのコミュニケーションを図りニーズの収集を行っている。	新規スタッフのコミュニケーションスキルなど、職員の資質の向上を図り、保護者ニーズの取り込みの強化に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		3	ホームページや広報にて公開を行っている。	周知不足のため、積極的な発信を心掛けます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			9		年一回の自己評価アンケート以外の外部評価を行っていないため、外部評価を取り入れる必要がある。要検討中。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		3	・研修を受ける機会を設けている。 ・月に1度、研修を行っている。	今年度から会議数を増やし、前年度より研修の機会を多く設けており、今後とも続けていく予定をしております。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		3		コロナ禍で面談が遅れることもあったが子供と保護者のニーズを客観的に分析し計画を策定しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		3		各プログラムに沿ったアセスメントツールの導入を検討しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		4	・全体で案を出し合っている。 ・毎月定例会で話し合っている。	会議で話し合いを行い1ヶ月間の活動プログラムの立案を行っています。また1日の活動案においては担当制で立案して発表し、第三者が必要に応じて修正を加えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		1	・固定もあるが、内容を変えている。	平日プログラムでは個人の課題に合わせたプログラムを一定の枠組みの中で内容を変えて行っています。またコロナ禍において思うようにプログラムができない状況のなか、おもちゃなどを新たに購入し活動が固定化されないように工夫しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		2	・平日と休日の活動は分けている。	コロナ禍によりプログラムが制限されるなかできる限りたくさんの経験をしてもらえるように余暇支援に力を入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8		1		個別活動、集団・小集団活動に分けて計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		1		土曜日など、支援開始前の時間が少ない日は前日にスタッフ館にて打ち合わせを行います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8		1	・毎日、終礼にて報告を行っている。 ・終礼は必ず行っている。	毎日の終礼にて気づいた点などを話し合い、フィードバックを行っています。また今後とも続けてまいります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		2		正しく記録を取るための研修を会議にて行っており、今後とも続けて参ります。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		2		コロナ禍にてモニタリングの時期がずれることもございますが、できる限り行っております。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6		3		ガイドラインとの見直し基準が明確ではないため、基準を設けて改善に努めます。	

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	2		・児童状況に精通し保護者と連携している職員が参画をしています。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	2		・送迎時などに情報共有を行っている。 ・学校によって対応が様々である。	送迎時間の調整などがずれてしまうことがあったため、保護者や学校との密な連携に励みます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	6				現在、医療的ケアの必要な子供を受け入れていないため、必要に応じて取り組みを行います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		8	1			モニタリング時にできる限り必要な情報を収集し必要であればこちらから連絡を入れて情報共有を実施しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	6			・小学生対象のデイサービスのため、中高生対象のデイサービスに移籍する場合は情報を提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	5				助言をもらい支援に活用しています。今後はもっと密な連携をとれるよう体制強化に努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5	4		・ボランティアサークルに来てもらっている。	今年度から、課題でもあった地域交流のための1歩としてボランティア団体と連携し、手話活動などの取り組みを行っている。今後更なる地域交流に努めていきたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		7	2		・検討中	現在検討中です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	2			・送迎時やノートなどで共通理解を図っている。	より多くの情報の共有に向けて職員のコミュニケーションスキルの向上に努めます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	6	1		・検討中(研修中)	現在、ペアレントトレーニングの研修に参加しており準備中となっております。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	2			・契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	3				連絡帳や電話・LINEを活用して行っています。今後より多くの相談場所を提供することが課題となっております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7	2		・検討中	現在、ペアレントトレーニングの研修に参加しており準備中となっております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	3				苦情相談窓口を設置しています。またその周知に努めていきたいと思います。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9				・毎月会報(わかば新聞)を発行しており、そちらにて発信を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	9					今後とも個人情報の取り扱いには厳重に注意を払います
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	4				コミュニケーションスキルの研修を行います。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	2		・餅つきをしたり、手話教室の先生方に来てもらっている。	餅つきやボランティア団体との連携など少しずつであるが取り組みを始めています。今後更なる地域との交流を行えるように努めたいと思っております。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	3				今年度より各種委員会の設置を行っております。また保護者への周知に努めて参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9				・委員会を発足した。	委員会の設置を行い、災害研修を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	2			・研修を年2回行っている。	権利擁護の研修には今後とも力を入れて行います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	5			・契約時に説明している。	委員会の設置を行い啓蒙活動の実施をしております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	5			・保護者からの申告はあるが、医師の診断書はない。	現在、緊急連絡先カードの改定を行っており、その中で食品アレルギーについての項目の追加を行っております。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1			・定期的に事例検討を行っている。 ・定例会で行っている。	事故委員会を設置し研修を行っています。また月に1度の定例会において各事業所のヒヤリハットの共有を行い事例検討を行っています。今後とも力を入れて取り組む予定をしております。	